

こうざ えもんつうしん 講左衛門通信

平成 25年 11月 10日

第10号

発行 天台宗忍草山東円寺

〒401-0511

南都留郡忍野村忍草38

☎ 0555-84-4114

『講左衛門さん、忍野八海に關係する書類（古文書）には、必ず東叡山と書かれているでまっすん。東円寺と東叡山とはどのような關係でまっすん。』

『いい質問じゃな。まずは、歴史を話さなければな。クニマッスンは、比叡山を知っておるか。平安時代、桓武天皇が京都に都を造る時、都を守るために、表鬼門に比叡山延暦寺を建立し、裏鬼門に石清水八幡宮を建立したんじゃ。さて、時代は変わり、徳川家康が江戸、現在の東京に都を造ることにしたんじゃが、家康の懐刀と言われた人がおってな。そのお方は、比叡山の僧侶なんじゃよ。天海大僧正と言ってな、江戸の都を造る時、都を守るために、表鬼門に東叡山寛永寺を建立し、裏鬼門に増上寺を建立するように家康に進言したんじゃよ。東の比叡山という意味で、東叡山なんじゃが、東円寺は、東叡山の直末のお寺だったんじゃ。江戸時代は、江戸城が現在の皇居なら、寛永寺は国会議事堂のようなものだったのかもしれない。寛永寺の権力は、絶大だったんじゃ。その直末に東円寺があったのじゃから、大寄友右衛門がいた時代は、東円寺が、現在の忍野村役場のような役割を果たしていたんじゃな。』

『やっと謎が解けたでまっすん。忍野八海を造るためには、寛永寺の許可が必要・・・ということは、現在なら、所轄省庁（文化庁）の許可をもらったということ。でまっすん。だけど、現在のように、車や電車はなく、江戸に行くには歩いていかなければいけないでまっすん。電話もなかったのだから、書状のやり取りだけでも、大変な仕事でまっすん。』

『そうじゃな。便利な時代に慣れてしまって、昔の人々の大変さを忘れてしまっておるんじゃよ。寂しいのう。だから、伝え続けていかなければいけないんじゃよ。』

『東叡山御免という意味は、どういう意味でまっすん。』

『御免とは、許可や承諾したという意味なんじゃ。東叡山御免ということは、東叡山が許可したという意味じゃ。現在でいう、文化庁が許可をしたと考えると分かりやすいかのう。最近気付いたことがあってな。原の家という民宿には、大手引き石があるんじゃが、その石には、「東叡山御持元八湖」と書かれておるんじゃ。御持とは、東叡山の所有であるということなんじゃが、そのことから、忍野八海と寛永寺との深い關係を伺うことができるんじゃよ。』

『今日は、勉強になったでまっすん。次回は、何を教えてくれるでまっすん。』 『次回は、東円寺と忍草浅間神社の關係を紹介しようと思っておる。忍草浅間神社の神像の像底には、別当東円寺と書かれているんじゃが、この意味について話をしようと思っておる。』



ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは富士山案内責任者)

『講左衛門通信』は、
第2・第4日曜日に発行予定

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

